

2026 年度湘南医療大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻(博士後期課程)

入学者選抜Ⅱ期

英語 出題の意図

総合的意図

この問題は、英語読解力を基盤としつつ、保健医療学領域における専門的理解力と批判的思考力を総合的に評価することを意図している。本文は、長寿と健康寿命の違い、および生活習慣が健康に及ぼす影響という公衆衛生・予防医学の中核的テーマを扱っているため、単なる語学力ではなく、医療系大学院生として必要な概念理解と背景知識の活用が求められる。

問 1・問 2

基本的な英文読解力に加え、文脈に即した適切な日本語表現力を評価することを目的としている。特に問 1 では長寿＝幸福とは限らないという価値判断を含む文の解釈力、問 2 では高齢化社会における疫学的変化を正確に読み取る力が問われている。

問 3

研究結果の要点を正確に把握し、それを日本語で論理的に説明する能力を評価する。ここでは、5 つの生活習慣要因と寿命延長との関連というエビデンスを整理し、数量的情報も含めて適切に表現できるかを評価する。

問 4

本文中の具体的記述から必要な情報を選択・要約する力を評価する問題である。運動が予防に寄与する複数の慢性疾患を正確に抽出し、日本語で簡潔にまとめる能力を評価する。

問 5

本問題の中核であり、単なる読解を超えて、保健医療学の視点から課題を批判的に考察する力を評価することを目的としている。健康寿命と平均寿命の乖離、生活習慣病予防の重要性、高齢化社会における医療・介護負担、行動変容支援や予防介入の必要性などについて、自身の専門的視点を踏まえて論理的に記述することができるかを評価する。